

総合殺菌剤

石原

# フロンサイド<sup>®</sup> SC (フロアブル)

®は登録商標

農林水産省登録 第18750号

幅広い抗菌スペクトラムで作物を守る



はくさい  
軟腐病



キャベツ  
菌核病



レタス  
すそ枯病



たまねぎ  
灰色かび病

■特長

- 1) 広範の病害にすぐれた効果
- 2) 耐性菌にも有効
- 3) 残効性・耐雨性にすぐれ、高い予防効果
- 4) 植物病原菌の各感染過程を阻害
- 5) 天敵・有用生物に対する高い安全性



石原バイオサイエンス株式会社

### ■適用病害と使用方法(一部抜粋)

作物名	適用病害名	10アール当り使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数
		希釈倍数(倍)	使用量(ℓ)				
小麦	紅色雪腐病 雪腐大粒菌核病 なまぐさ黒穂病	1,000	60~150	根雪前	2回以内	散布	3回以内 (は種前は1回以内、 は種後は2回以内)
	雪腐小粒菌核病	1,000~2,000	25				
ばれいしょ	疫病	500	25	収穫7日前まで	4回以内	散布	6回以内 (種いも浸漬は1回以内、 植付前の土壌混和および 植付時の植溝散布は 合計1回以内、 植付後の散布は4回以内)
	菌核病	1,000~2,000	100~300				
	夏疫病	2,000	—	植付前	1回	種いも瞬間浸漬	
	そうか病	100	—				
かんしょ	基腐病	1,000	—	収穫30日前まで	2回以内	散布	3回以内(植付前は1回以内、 植付後は2回以内)
やまのいも	葉疫病	2,000	—	収穫7日前まで	4回以内		
あずき	炭疽病 灰色かび病	1,000~2,000	100~300	収穫21日前まで	3回以内	散布	3回以内
	菌核病	1,000					
いんげんまめ	炭疽病 灰色かび病	1,000~2,000	100~300	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
	菌核病	1,000					
べにばな いんげん	灰色かび病	1,000	100~300	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
	黒条病	1,000					
たまねぎ	乾腐病	50	—	定植直前	1回	5分間苗根部浸漬	7回以内 (全面土壌混和は1回以内、 苗根部浸漬は1回以内、 散布は5回以内)
	灰色腐敗病 べと病	1,000~2,000	100~300	収穫3日前まで	5回以内	散布	
	灰色かび病	250~500	25				
	白色疫病	1,000	100~300	収穫30日前まで	4回以内	散布	
てんさい	褐斑病	1,000	100~300	収穫30日前まで	4回以内	散布	5回以内 (は種前の土壌混和および 苗床灌注は合計1回以内、 株元散布および散布は 合計4回以内)
	根腐病	1,000~2,000				株元散布	
	黒根病	100				3ℓ/m <sup>2</sup>	
いちご	炭疽病	1,000	50ml/株	育苗期	1回	灌注	1回
食用ゆり	葉枯病	1,000	100~300	収穫14日前まで	6回以内	散布	8回以内(球根瞬間浸漬は2回以内、 散布は6回以内)
	鱗茎さび症	50	—	植付前	2回以内	球根瞬間浸漬	
アスパラガス (露地栽培)	茎枯病 斑点病	2,000	100~300	収穫終了後 但し、秋期まで	5回以内	散布	5回以内
ゆり	茎腐症 (リゾプス菌による)	500	3ℓ/m <sup>2</sup>	定植後	2回以内	土壌灌注	3回以内

### ⚠ 使用上の注意事項 (一部抜粋)



- 使用直前に容器をよく振ってください。
- 本剤は保護効果主体の薬剤であり、病原菌に感染した後の散布では効果が不十分な場合があるので散布時期に注意してください。
- いちごに使用する場合、新葉に葉害を生じるおそれがあるので注意してください。
- きゅうり、レタス等には葉害を生じるおそれがあるので、周辺にそれらの作物がある場合にはかからないように注意してください。
- 全面散布土壌混和で使用する場合、所定量の薬量を均一に散布し、土壌と十分混和してください。降雨直後の処理は、混和むらの原因となるのでさけてください。
- 根こぶ病対象に本剤を多量に使用すると初期生育が抑制される場合があるので、適量薬量の範囲で使用してください。
- 小麦、ばれいしょ、たまねぎに対して少量散布で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用してください。
- 全面土壌散布で使用する場合は、畦立て作業後に所定量の薬量を均一に散布してください。
- キャベツ、はくさい、レタスおよび非結球レタスの全面土壌散布では、初期生育の遅延を生じることがありますが、その後回復し、作物の生育、収量に影響はありません。(定植後の多雨または過度の灌水条件で発生しやすい)
- だいこんに使用する場合は、初期生育の遅延を生じることがありますが、その後の生育には影響しません。
- 本剤の使用に当たっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。

- 本剤は皮膚感作性があり、皮膚かぶれ等を起こすことがあるので、使用前にはラベルをよく読んでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤は眼および皮膚に対して刺激性があるので薬剤が眼に入ったり、皮膚に付着しないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。皮膚に付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 魚毒性等…水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼および海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。

- 使用前にラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。

ラベルを大切に読んでください  
 適用作物、薬量(希釈倍率)、  
 使用時期、使用回数を守りましょう  
 石原は「食の安全」を大切にします

作物名	適用病害名	10アール当り使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数
		薬量(ml)	希釈水量(ℓ)				
はくさい	根こぶ病	500	100~200	定植前	1回	全面散布土壌混和	2回以内(土壌混和は1回以内、 土壌散布は1回以内)
	尻腐病、軟腐病					全面土壌散布	
キャベツ	根こぶ病	500	100~200	は種または 定植前	2回以内 (苗床では1回以内、 本圃では1回以内)	全面散布 土壌混和	3回以内 (苗床では1回以内、 本圃での土壌混和は1回以内、 土壌散布は1回以内)
	苗立枯病 (リゾクトニア菌)					全面土壌散布	
	菌核病 株腐病					全面土壌散布	
ブロッコリー カリフラワー	根こぶ病	500	100~200	定植前	1回	全面土壌散布	1回
かぶ	根こぶ病	500	100~200	は種前	1回	全面散布 土壌混和	2回以内 (土壌混和は1回以内、 土壌散布は1回以内)
だいこん	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)	500	100~200	定植前	1回	全面散布 土壌混和	2回以内 (土壌混和は1回以内、 土壌散布は1回以内)
レタス 非結球レタス	ビッグベイン病 すそ枯病	400~600	200	定植前	1回	全面土壌散布	6回以内(種いも浸漬は1回以内、 植付前の土壌混和および植付時の 植溝散布は合計1回以内、 植付後の散布は4回以内)
	すそ枯病、軟腐病					全面土壌散布	
ばれいしょ	粉状そうか病	400~600	200	植付前	1回	全面散布土壌混和	3回以内(植付前は1回以内、 植付後は2回以内)
	粉状そうか病 そうか病					植溝散布	
かんしょ	基腐病	500	50~200	植付前	1回	全面散布土壌混和	3回以内(植付前は1回以内、 植付後は2回以内)
	葉疫病					全面土壌散布	
やまのいも	褐色腐敗病	500	100~200	植付前	1回	全面散布土壌混和	5回以内(植付前の土壌混和は 1回以内、植付後の散布は4回以内)
	葉疫病					全面土壌散布	
小麦	縞萎縮病	600	100	は種前	1回	全面散布 土壌混和	3回以内(は種前は1回以内、 は種後は2回以内)
	なまぐさ黒穂病					全面土壌散布	
チューリップ	微斑モザイク病 条斑病	500	100~200	植付前	1回	全面散布 土壌混和	7回以内

